



国宝本殿造営・寄進六五〇年記念特別展

住吉神社

— 護り伝えられた文化財 —

観覧無料

2020年

7月7日(火) ↓ 7月26日(日)

■ 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※7月7日(火)のみ12時間場

■ 休館日 7月13日(月)・14日(火)・20日(月)

■ 主催 宗教法人住吉神社

■ 共催 下関市教育委員会

■ 後援 下関市

■ 協力 下関市立歴史博物館

下関市立美術館

1階市民ギャラリー

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1



住吉神社

— 護り伝えられた文化財 —

全国的に内乱が続いていた一四世紀の南北朝時代、激しい争いを勝ち抜き周防・長門兩國を統一したのが、大内弘世です。

弘世は敵対していた厚東氏の打倒を住吉神社(長門一宮)に祈り、祈願成就のあかつきには社殿を修造すると誓っていました。厚東氏に勝利した弘世は、誓いどおり社殿造替に着手し、応安三年(一三七〇)に完成させます。このとき建てられたのが国宝住吉神社本殿であり、九間社流造の千鳥破風をもつ特徴的な連結社殿は、弘世が造替した当時の面影を今に伝えています。

この本殿については、平成二一〜二三年度に文化庁・山口県・下関市の補助で保存修理が実施されるなど、保護のためにさまざまな努力を重ねられてきました。さらに、本殿とともに住吉神社に伝来する文化財は、文化財を後世に伝えようとした多くの先人の努力を物語っています。

本展は、国宝住吉神社本殿の造営・寄進六五〇年を記念し、住吉神社にかかわる文化財を紹介することで、文化財を持つ力とその保護に対する理解を深めるものです。



上空から見た国宝住吉神社本殿
650年前に大内弘世が造営・寄進し、護り伝えられてきた本殿！



長門国守護職次第(部分、住吉神社蔵)
大内弘世をはじめとする歴代長門守護のリスト！



大内義隆画像
(大寧寺蔵)
クーデターで落命した悲劇の当主！



高島北海筆 住吉神社全景図
(住吉神社蔵)
高島北海が描いた住吉神社！



木造住吉大明神像
(大寧寺蔵)
老人の姿で現れた住吉大明神！

交通案内

下関市立美術館

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町 1-1

Shimonoseki City Art Museum



▼バス(サンデン交通)

- ・JR 下関駅から(所要時間約20分)
長府・小月方面(「市立美術館前」下車)
宇部・秋吉・山口方面(「市立美術館前」下車)
- ・JR 新下関駅から(所要時間約25分)
「城下町長府」經由「マリノランド」行き、
または、「城下町長府」經由「下関駅」行き(「市立美術館前」下車)
- ・JR 長府駅から(所要時間約15分)
「長府駅」から「下関駅」行き(「市立美術館前」下車)

▼自動車

- 下関 I.C から道の湾方面に進み、国道9号線經由(所要時間約20分)、
または長府方面に進み、国道2号線經由(所要時間約15分)

こちらも注目!

平成の保存修理事業の成果である本殿板戸絵の複製(通常未公開)を期間限定で展示!

展示期間: 令和2年7月18日(土)~26日(日)
展示会場: 住吉神社
(下関市一の宮住吉一丁目11-1)

※展示会場は美術館ではありませんのでご注意ください。

